



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)荻野 守 (TEL)03-3419-7893
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	281,479	△2.7	2,911	19.4	4,676	11.1	2,759	5.1
26年3月期第1四半期	289,328	4.2	2,437	12.0	4,211	9.9	2,626	8.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3,619百万円(39.1%) 26年3月期第1四半期 2,601百万円(15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	36.60	36.59
26年3月期第1四半期	36.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	565,079	150,063	26.5
26年3月期	580,137	147,190	25.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 150,025百万円 26年3月期 147,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	594,000	2.6	6,500	22.7	9,400	12.1	5,800	18.0	76.93
通期	1,221,000	2.6	15,600	26.5	21,100	15.3	12,700	22.0	168.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	78,270,142株	26年3月期	78,270,142株
27年3月期1Q	2,881,333株	26年3月期	2,881,129株
27年3月期1Q	75,388,887株	26年3月期1Q	71,678,996株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

医療用医薬品市場は、本年4月に診療報酬と薬価の改定があり、4月からの消費税増税分を含め薬価ベースで平均2.65%（税抜き5.64%）の薬価引下げが行われました。また、診療報酬改定において、ジェネリック医薬品の使用がさらに促進されるなどの医療費抑制策や消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、前期比3.3%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）のマイナスとなりました。

このような状況のもと当社グループは、独自の顧客支援システムを基軸とした提案型の営業活動を強力に推進することにより、医療機関とのさらなる関係強化を図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高281,479百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益2,911百万円（前年同期比19.4%増）、経常利益4,676百万円（前年同期比11.1%増）、四半期純利益2,759百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、フィービジネスの拡大を展開するとともに、医薬品個々の価値に応じた合理的な販売価格の形成に努め、適正利益の確保を図っております。また、早期妥結の推進と総価取引、薬価差問題等の是正に向けた流通改善に取り組んでおります。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は269,535百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益（営業利益）は2,923百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

調剤薬局事業では、順調な業容の拡大と経営の効率化、高付加価値化を進めておりますが、調剤報酬の改定や消費税増税下の薬価改定等の影響があり、当第1四半期連結累計期間の売上高は22,149百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益（営業利益）は18百万円（前年同期比94.3%減）となりました。

治験施設支援事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は72百万円（前年同期比34.3%減）、セグメント利益（営業利益）は19百万円、情報機器販売事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は169百万円（前年同期比50.9%減）、セグメント損失（営業損失）は90百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、399,529百万円となりました。これは、現金及び預金が3,901百万円増加し、受取手形及び売掛金が10,068百万円、商品及び製品が11,362百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、165,550百万円となりました。これは、投資有価証券が1,688百万円増加し、有形固定資産が439百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、565,079百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、373,795百万円となりました。これは、賞与引当金が1,827百万円増加し、支払手形及び買掛金が16,653百万円、短期借入金が4,202百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、41,220百万円となりました。これは、長期借入金が1,127百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.1%減少し、415,015百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.0%増加し、150,063百万円となりました。これは、利益剰余金が2,003百万円、その他有価証券評価差額金が860百万円それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日発表の平成27年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が43百万円増加し、利益剰余金が28百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,362	22,263
受取手形及び売掛金	281,742	271,674
有価証券	502	502
商品及び製品	81,424	70,062
その他	34,046	35,560
貸倒引当金	△649	△534
流動資産合計	415,429	399,529
固定資産		
有形固定資産	85,574	85,134
無形固定資産		
のれん	10,590	10,561
その他	3,419	3,405
無形固定資産合計	14,009	13,967
投資その他の資産		
投資有価証券	57,071	58,760
その他	9,698	9,480
貸倒引当金	△1,644	△1,791
投資その他の資産合計	65,125	66,448
固定資産合計	164,708	165,550
資産合計	580,137	565,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	361,976	345,323
短期借入金	12,200	7,998
未払法人税等	3,285	2,436
賞与引当金	3,562	5,389
役員賞与引当金	80	19
返品調整引当金	302	352
資産除去債務	45	-
その他	8,845	12,275
流動負債合計	390,299	373,795
固定負債		
長期借入金	12,308	11,181
退職給付に係る負債	1,527	1,609
資産除去債務	1,080	1,012
負ののれん	464	320
その他	27,267	27,096
固定負債合計	42,647	41,220
負債合計	432,947	415,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	47,814	47,814
利益剰余金	83,898	85,902
自己株式	△3,437	△3,437
株主資本合計	138,926	140,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,547	13,407
土地再評価差額金	△4,311	△4,311
その他の包括利益累計額合計	8,236	9,096
新株予約権	28	37
純資産合計	147,190	150,063
負債純資産合計	580,137	565,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	289,328	281,479
売上原価	264,094	254,353
売上総利益	25,233	27,125
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	10,701	10,794
賞与引当金繰入額	1,857	1,874
役員賞与引当金繰入額	28	19
退職給付引当金繰入額	56	-
退職給付費用	-	57
福利厚生費	1,934	1,968
車両費	376	379
貸倒引当金繰入額	△9	△38
減価償却費	718	1,143
のれん償却額	597	626
賃借料	1,751	1,750
租税公課	307	332
仮払消費税の未控除費用	758	1,237
その他	3,717	4,067
販売費及び一般管理費合計	22,795	24,213
営業利益	2,437	2,911
営業外収益		
受取利息	22	5
受取配当金	538	618
受取手数料	713	700
負ののれん償却額	214	143
持分法による投資利益	14	0
その他	481	562
営業外収益合計	1,985	2,031
営業外費用		
支払利息	95	93
不動産賃貸費用	89	147
その他	27	25
営業外費用合計	212	266
経常利益	4,211	4,676

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	211	28
その他	12	1
特別利益合計	224	30
特別損失		
固定資産処分損	14	21
減損損失	-	124
賃貸借契約解約損	8	-
その他	1	-
特別損失合計	25	145
税金等調整前四半期純利益	4,410	4,561
法人税、住民税及び事業税	2,010	2,690
法人税等調整額	△226	△888
法人税等合計	1,784	1,802
少数株主損益調整前四半期純利益	2,626	2,759
四半期純利益	2,626	2,759

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,626	2,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	851
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	8
その他の包括利益合計	△24	860
四半期包括利益	2,601	3,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,601	3,619
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	267,911	21,077	110	228	289,328	—	289,328
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	10,370	4	—	116	10,492	△10,492	—
計	278,282	21,081	110	345	299,820	△10,492	289,328
セグメント利益又は損失(△)	2,042	325	59	△11	2,416	21	2,437

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	259,124	22,141	72	140	281,479	—	281,479
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	10,410	7	—	28	10,447	△10,447	—
計	269,535	22,149	72	169	291,926	△10,447	281,479
セグメント利益又は損失(△)	2,923	18	19	△90	2,871	40	2,911

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。